

試 験 問 題

(上級＜京都方式＞課題作文)

(令和7年5月23日～6月3日実施)

注意事項

- 課題作文の字数は、**900字以内**に限ります。
- 試験時間は、**40分間**です。

設問1、2について、あなたの考えを900字以内で述べてください。

京都市では、すべての人に「居場所」と「出番」があり、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できる「ウェルビーイングなまち」を目指しています。

これを実現するためには、行政・市民・地域・民間の垣根を低くし、市役所・区役所が「結節点」としての役割を担うことで、市民と多様な主体が交ざり合う機会を創出していく必要があります。地域の魅力やポテンシャルを最大限に活かしながらまちを活性化させ、市民生活の豊かさにつなげていくための取組として、公共空間の在り方見直し、働く場の創出、移住・定住の促進、子育て・教育環境の充実や生活の利便性向上等が挙げられますが、それらを市職員だけで考えるのではなく、まちの担い手である地域住民・事業者の皆様等と対話を重ねながら具体化していくことが重要です。

以上のような考え方に基づき、京都市ではこれまでから、洛西地域「洛西“SAIKO”（さあ、いこう）プロジェクト」や山科-醍醐地域「meetus（ミータス）山科-醍醐プロジェクト」で地域協働型の活性化プロジェクトに取り組んでいます。

設問1

多様化・複雑化する社会課題・市民ニーズに的確に対応するためには、自治体が地域や企業・大学・福祉関係団体・NPO 団体等と協力し、市民と多様な主体とを“つなぐ”役割が重要となっています。

あなたが、地域の活性化・振興を目的とし、公園や学校、ホール、区役所等をはじめとする公共空間や民間施設を利用した長期的なイベントの企画・運営を進める担当となった場合、市職員としてこの“つなぐ”役割を担ううえで、どのような課題が生じると考えられますか。

なお、利用する施設や協働する団体は自由に設定して構いません。

設問2

設問1の課題を解消し、円滑に事業を進めるため、自身の学びや経験をどのように活かしますか。